

私たち寅年です!



志木市民生委員・児童委員協議会
副会長 三浦由紀江さん(写真右から2人目)

私は今年で志木市民生委員・児童委員協議会の副会長になって6年目を迎えます。長年民生委員をしていますが、担当地区で出会っていない人も多くいらっしゃいます。今年取り組む地域の要援護者マップづくりやイベントなどの機会に多くの人と出会い、民生委員活動を知ってもらい、「和」をもって話すことで住みよいまちづくりに貢献したいと思っています。



社会福祉法人 川口市社会福祉協議会
川口市青木地域包括支援センター
社会福祉士 中嶋祥恵さん

私が所属している川口市青木地域包括支援センターでは、昨年より「地域ネットワークづくり」に力を入れ、地域の方々とともに、介護予防のための運動教室・高齢者サロン・認知症家族交流会の3つのプロジェクトを立ち上げました。今年は、このプロジェクトを具体化し、1回でも多く地域の中で開催していきたいです!

新年を迎え、本会のパートナーである各分野の福祉施設、市町村社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会、NPOなどのあらゆる福祉関係者の方々、「寅年」の方々から力強い2010年の決意表明をいただきましたので、そのメッセージを紹介します!



仲間との県外研修は
楽しく有意義です!



熊谷市第3地区民生委員・児童委員協議会
会長 鈴木充さん

私は今年で地区の民生委員・児童委員協議会の会長になってから9年目を迎えます。会長の立場で常を感じるのは、民生委員活動には「チームワーク」が不可欠だということです。若い世代の後輩が増えてきたこともあり、たくさんの人と交流しながら学ぶことを基本として自分たちの地区を盛り上げていきたいです。



社会福祉法人 桶川市社会福祉協議会
地域福祉担当 主事補 小川孝明さん

私は桶川市社会福祉協議会(以下桶川市社協)に入り、3年目を迎えます。地域福祉担当として、桶川市社協のキャッチコピーである『小さな愛』を大切に住民の方々と関わっていきたくです。桶川市社協が住民の方々とよりいっそう身近にふれあい、関わっていけるような『やさしさを感じるまちづくり!』を目指していきます。

2010 1月号 特集

新年の抱負 「私は今年〇〇します!!」 —福祉業界それぞれの決意表明2010—

年頭のあいさつ 謹賀新年



社会福祉法人
埼玉県社会福祉協議会 会長

上田清司

埼玉から新しい道を切り開く
～未来への投資～

新年明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに平成22年の新春をお迎えのことと心からお喜びを申し上げます。

いよいよ「地域主権」へ大きく前進する年が始まりました。地方が自ら地方の決めるチャンスの到来であり、今年は大きな節目の年となります。

私は、埼玉での成功例を日本の未来を創るエネルギーの源「源動力」として全国に発信し、ゆとりとチャンスの拡大に全力で取り組んでいく決意です。

今、日本は経済危機に加え、環境問題、医療、福祉をめぐる不安など様々な課題に直面しています。私は「100年に一度の経済危機を言い訳にしない」という思いで県内経済の活性化、県民生活を守るセーフティネットの充実に最優先で取り組んでまいりました。

住宅ローン助成制度、太陽光発電の設置補助といった小さな投資で大きな波及効果を生み出す事業を実施。また、中小企業の資金繰りの支援を行う「緊急借換資金」の創設や猛威をふるう新型インフルエンザへの対策強化などを進めています。

また、昨年は本県出身の方々が活躍されました。宇宙飛行士の若田光一さん、直木賞を受賞された北村薫さん、俳優の本木雅弘さん、ゴルフの石川遼選手などが私たちに大きな喜びとともに夢と希望と勇気を与えてくれました。

2010年、埼玉県は、将来を見据え、新たな活力を生む「未来への投資」を更に進めてまいります。

次世代産業として期待されている環境、介護、福祉をはじめとした「新たな成長分野への集中的な投資」を行います。これによりイノベーションの追求、新分野進出や海外展開などに取り組む企業を積極的に支援してまいります。

また、社会を発展させていく基盤となるのが「未来の担い手の育成」です。子どもたちの成長期には、地域ぐるみの子育て支援や学校教育の充実は何よりも大切です。さらに若者の雇用を確保するとともに、医療、福祉、農業など人々の暮らしを守る生命産業の担い手を育成してまいります。

私が知事に就任以来取り組んできた「安心・安全社会の実現」も更に進めてまいります。防災立県として危機管理防災センター(仮称)を整備するほか、医師・看護師不足への対応やがん対策など地域医療・保健の充実を図ります。

私は、少子高齢化が進む社会にあって、自ら行う「自助」と行政が行う「公助」に加え、「共助」が重要な役割を果たすものと考えています。県内でも元気な高齢者が支援を必要とする高齢者を支える「地域支え合いの仕組み」が広がっています。日本一の団体数を誇る「民間パトロール」や「みどりと川の再生」などの県民運動もその一つです。

私は、こうした「共助」の取組を全県下に拡大させたいと考えています。本会では、市町村社会福祉協議会や民生委員・児童委員、社会福祉施設関係者や福祉団体の皆様方とのネットワークを備えていますが、このネットワークを活かして共助の仕組みをさらに拡げていきたいと考えています。

何事にもチャレンジするとき、道は開かれます。717万県民の力を結集し、「ゆとりとチャンスにあふれた埼玉県」の実現に一歩ずつ確実に歩いていきましょう。

結びに、この一年が皆様にとって幸多き年となりますことを祈念し、私の年頭のあいさつといたします。

寅年の人に聞きました!

2010年1月号特集
新年の抱負
「私は今年〇〇します!!」
 - 福祉業界それぞれの決意表明2010 -



**社会福祉法人 埼玉県ブルーボードホーム
 知的障害者更生施設 江南愛の家(熊谷市)**

生活支援員 笹井小百合さん(後列左から2人目)

小学生の時から介護に興味があり、今この仕事を「天職」だと思っています!今年はずっと介護の知識を身につけて、頼りになる先輩たちと同じように利用者の方の立場に立った支援がしたいです。

生活支援員 大崎由佳莉さん(後列右から2人目)

愛の家は同期の職員や先輩職員に相談しやすい雰囲気でも働きやすいです。そんな職場の中でどんなに忙しくても、利用者の方とお話できる時間を大切にたくさんコミュニケーションがとれる職員になりたいです。

生活支援員 八木橋かおりさん(後列左端)

私が笑顔でいられると利用者の方も笑ってくれるので、今年も思いやりを持って、人と接していきたいです。先輩を見ていると、言葉がなくても、利用者の方と通じ合うほどの信頼関係を感じるので、私もそんな職員になりたいです!

生活支援員 島田優保さん(後列右端)

今年で働き始めてから2年目を迎えますが、私の抱負は自分にゆとりを持つことです!ゆとりを持つことで利用者の方の話をしっかりと聞き、話の中にあるメッセージをしっかりと受け取っていききたいと思います。

生活支援員 岡田康弘さん(前列右)

愛の家は、フレンドリーに接してくれる利用者の方が多いのですが、今年の抱負は、どんなささいなことであってもいつでも話しかけてもらえるような職員になることです。また、入職してから無遅刻・無欠勤を継続しているので記録を更新していきます!

支援課長 長岡勝利さん(前列左)

愛の家は、若手職員が多いのが特徴ですが、私自身、若い意識を持って身も心も若くあり続けたいと思っています!今年の抱負は、ベテラン職員も含め、チームワークを大切にしながら人材育成に力を入れて、利用者の方にさらに良い支援をしていくことです。

私たちはNPO法人暮らしネット・えん(以下えん)の寅年メンバーです。



NPO法人 暮らしネット・えん(新座市)

**ケアマネジャー
 内堀まり江さん(写真中央)**

「熟き想い」を持ち続けることは大変ですが、いつも利用者さんの笑顔に会えるこの仕事が好きです。今年もえんの特徴でもある地域に根ざした活動を続けていくとともに利用者や家族の気持ちを代弁できるケアマネジャーになっていきたいです!

介護職 三輪絵美子さん(写真左)

利用者の方は、私の「先輩」であり、長年生きてこられた力を感じ、驚かされることや教えられることがたくさんあります。今年も利用者の方と同じ目線や立場であることを大切にしながら、普通に自然と一緒に過ごしていけたらと思っています。

介護職 安田実子さん(写真右)

利用者の方の過去の生活歴と将来をも視野に入れて知ることが出来るように心がけています。もちろんそれには時間がかかりますし、簡単なことではありませんが、会ってなくても、話してなくてもその方が何をしているのか、考えているのか分かるようなスタッフを目指しています!

寅年仲間と記念撮影。



**社会福祉法人 松仁会
 特別養護老人ホーム 熊谷ホーム(熊谷市)
 施設長 金子一美さん**

今年還暦を迎える寅年です!松仁会に入職して34年。法人の会長・理事長がそろって寅年で「常に利用者の方のことを第一に考えよ。認知の人は鍵で止めるな。心で止めよ」との福祉魂を教わりました。

今年3年目に入る当施設の副園長2人もそろって寅年生まれ。大トラの愛と福祉魂を受け継いで「飛躍の一年」としていきます。

在宅福祉課のメンバーです!



**社会福祉法人 越谷市社会福祉協議会
 在宅福祉課 課長 竹村康子さん(写真中央)**

私は越谷市社会福祉協議会の在宅福祉課に勤務しています。市民の皆様から寄せられるニーズに、どうしたら安心してその人らしく生活できるかを念頭におき、解決していく一つの過程の中から、“しくみ”をつくりあげていきたいと思っています。今年、できる限り地域に出ていきたいです。



**社会福祉法人 成恵福祉会
 寺谷保育園(鴻巣市)
 副園長 吉田まき子さん(写真右から2人目)**

私は113人の園児が通う保育園の副園長をしています。常に体を動かし、子どもたちと遊ぶことが大好きです!

保育士の仕事は、子どもの思いや気持ちを大切にしながら子どものカラー(いいところ)を発見し、引き出していくことだと思っています。今年も「子どもが元気で先生たちもニコニコ」な保育を続けていきたいです。

保育士 池田有子さん(写真左端)

1日の保育を振り返り、反省し、明日へどう繋げていくか試行錯誤の連続です。今年も子どもたちの元気のパワーをもらいながら、「初心忘れず」の気持ちを持ったことを常に心がけています。



**学校法人 埼玉福祉学園
 埼玉福祉専門学校(さいたま市)
 教務部 宿野部有さん(後列中央)**

私は福祉系の専門学校で児童福祉科に通う58人の学生の担任をしています。学生が大好きな私の今年の抱負は、将来子どもに携わる学生たちが、即戦力になることができるような保育の技術を身につけ、心豊かに子どもに愛情を注げるように育成し、現場に送り出していくことです!